



2022年11月22日

## 「2023年版カレンダー」の配布について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）では、福島市出身の画家 齋 正機（さい まさき）氏の作品「拝啓 只見線様」による2023年版カレンダーを制作いたしましたのでお知らせいたします。

ぜひ、今年11年ぶりに全線運転再開となった只見線の風景をお楽しみください。

カレンダーは、2022年11月24日（木）より当行本支店でお配りいたします。

当行とのお取引の有無に関わらず広くお配りいたしますので、ご希望のお客さまは、お気軽に最寄りの本支店までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

なお、カレンダーおよび包装紙には、環境に配慮した素材を使用しております。

当行は、今後も引き続きお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

### 記

#### 1. 本作品への作者コメント

只見線が念願の全線再開しました。2011年7月の豪雨災害で会津川口-只見間がなんと11年間不通であり、復活は困難な道のりでした。ローカル線の宝とも言える只見線の全線再開の喜びを表現するために、会津川口駅を出発する列車を子供たちが称える絵を描きました。

（只見線-会津川口駅）

齋 正機

#### 2. カレンダー

別紙をご参照ください。

#### 3. 齋正機氏による当行カレンダー

第1回	2011年カレンダー	「雨アガル福島ノ桃畑ヲ歩ク」	（伊達郡）
第2回	2012年カレンダー	「穏ヤカナ午後ノ鶴ヶ城」	（会津若松市）
第3回	2013年カレンダー	「柔ラカイ風ノ吹ク白水阿弥陀堂」	（いわき市）
第4回	2014年カレンダー	「南湖ノ春ニ遊ブ」	（白河市）
第5回	2015年カレンダー	「磐梯山物語」	（猪苗代町）
第6回	2016年カレンダー	「神旗ヲ待ツ（相馬野馬追）」	（南相馬市）
第7回	2017年カレンダー	「花ビラ舞ウ小沢ノ桜」	（田村市）
第8回	2018年カレンダー	「只見線物語」	（会津美里町）
第9回	2019年カレンダー	「塩屋埼灯台ト共ニ」	（いわき市）
第10回	2020年カレンダー	「桃花雪ウサギ」	（福島市）
第11回	2021年カレンダー	「イチョウ舞ウ喜多方長床」	（喜多方市）
第12回	2022年カレンダー	「夜ノ森春風物語」	（富岡町）
第13回	2023年カレンダー	「拝啓 只見線様」	（金山町）

#### 4. 齋正機氏のプロフィール

- 1966年 福島県福島市生まれ
- 1994年 東京藝術大学 美術学部絵画科日本画専攻 大学院修了
- 1998年 第4回ふるさとの風景展 最優秀賞（喜多方市美術館／福島／第7回優秀賞）
- 2001年 第55回 福島県総合美術展 福島県美術賞（福島県文化センター／福島）
- 2003年 第38回 昭和会展 昭和会賞（日動画廊／東京）
- 2006年 残滓牧景第一章（日動画廊／東京・名古屋）
- 2010年 残滓牧景第二章～M氏ノ運転シタ風景ノ記憶～（西武池袋／東京）
- 2011年 個展～記憶ノ散歩ノ色～（箱根・芦ノ湖 成川美術館／神奈川／’15）
- 2013年 「第13回伝統からの創造21世紀展」（五都美術倶楽部／東京／’14’15）  
残滓牧景第三章～拝啓 吾妻小富士様～（日動画廊／東京・名古屋）
- 2014年 個展～記憶ノ散歩ノ色～（伊達市梁川美術館／福島）  
個展～やさしい日常の風景～（瀬戸内市立美術館／岡山）
- 2016年 創と造（五都美術倶楽部／東京／～’19）
- 2017年 個展～記憶鉄道～（日本橋三越／東京）
- 2018年 齋正機 後援会発足（福島）
- 2019年 「齋正機の世界展」～ふくしまものがたり～  
（とうほう・みんなの文化センター／福島）  
「齋正機の世界展」～あいつものがたり～（喜多方市美術館／福島）  
「齋正機の世界展」～ローカル線ものがたり～（愛知／名古屋市）
- 2020年 「齋正機展」～ふくしまものがたり～（日本橋高島屋／東京）  
「齋正機展」～ふるさと・ふくしまとともに～（郡山女子大学／福島）  
「齋正機の世界展」～ふくしまものがたり～（佐藤美術館／東京）
- 2021年 「齋正機展」新世代の日本画～やさしく、あたたかな絵～  
（箱根・芦ノ湖 成川美術館／神奈川）
- 2022年 絵と映像とエッセイで綴る 齋正機展2022『ふくしま今昔物語』  
（とうほう・みんなの文化センター／福島）  
「齋正機の世界展」（砺波市美術館／富山）

#### 5. お客さまお問い合わせ先

<東邦銀行 ハローサービスセンター> 0120-14-8656  
受付時間／平日 9:00～17:00 土日 9:00～16:00（祝日・年末年始を除きます）

#### 6. 関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

